

■ (私書箱) 証憑管理 操作のヒント

「証憑管理」メニューに電子取引データや原始資料データをアップロードする場合、「取引先」マスタを活用することで、顧問先の操作の手間を減らすことができます。

●●● 取引先マスタの活用

取引先名をあらかじめマスタに登録しておくことで、電子帳簿保存法が求める検索要件の1つである「取引先」を設定・入力する手間が軽減されます。

(1) 書類リストに「既定取引先」としてセットが可能

該当のリストに沿って保存されたデータには「取引先」が自動紐づけされます。

⇒データごとに検索要件「取引先」を設定する手間が軽減

(2) 書類リストを使わずにアップロードする場合の「取引先」の設定もラクに

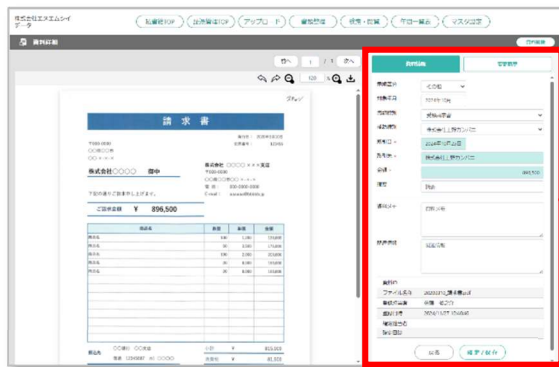
資料詳細画面で「取引先」をプルダウン選択可能になります。

⇒1件ずつ手入力する手間が軽減

■ 私書箱の機能改善メンテナンスをおこないました (11/28 実施済み)

証憑管理メニューを含む、私書箱の各種機能改善メンテナンスをおこないました。上記でご紹介した「取引先」を含めた検索要件の入力画面が、見やすく、入力しやすくなりました。

□ 証憑管理 [資料詳細] 画面



【資料情報】タブで
「書類種別」「補助種別」
「取引日」「取引先」
「金額」などをまとめて
設定できるようになりました。

◇内容の詳細やその他のメンテナンス項目については、サポートページに掲載しています。

NMCサポート



～リリース情報 (2024/11/25 掲載)
(私書箱-証憑管理) 機能改善メンテナンスにつきまして